

田辺市本宮町の熊野古道

感謝を込めて整備に励む

「道普請ボランティア&健康ウォーク」



熊野古道の道普請に励む人たち

田辺市本宮町の和歌

山県世界遺産センターは16・17の両日、「道普請（みちぶしん）ボランティア&健康ウォーク」を実施した。

健康ウォークは世界遺産・熊野の自然や歴史にふれながら、五感をたっぷり使って歩く「熊野で健康ウォーキング」で、すでに93回実施している。今回のウォークは熊野古道への感謝を込め、参加者が古道の整備（道普請）をしながら歩いた。

初日は発心門王子から熊野本宮大社までの発心門王子側古道を整備。17日は午前10時過ぎに発心門王子を出発し、午後2時過ぎ本宮大社近くに到着。雨水によって土砂で埋まった石畳の側溝や、道を横切る溝の修復をして、雨水の流れがよくなるようにした。

17日に参加したのは20数人。同センターで用意した道普請に必要な道具を使い、石を拾ったり木の根元を整地したりしながら、うっそうとした森の中の古道を美しくした。

作業中に古道を散策するハイカーが多く、「ご苦労さんです。ありがとございます」と声をかけて通る人もいて、和やかな交流が見られた。